

このたびはイヤー・スピーカー**SR-5**をお買上げいただき、厚く御礼申しあげます。お使いになる前に、この説明書をよくお読みくださるようお願い致します。

## ★ 接続

ステレオ・アンプにアダプター (SRD-6 又は SRD-7) を接続して聴く場合についてご説明します。専用アンプ SRA-10S については同機に添付の説明書をごらんください。

① アダプターは、メイン・アンプのスピーカー端子に接続します。それ以外のものには接続できません。

② まずアンプの電源スイッチが切れていることを確認してから、アンプのスピーカー端子につながれているスピーカー・コードをはずします。

③ アダプターの入力コードを、図のように、アンプのスピーカー端子につなぎます。コードの色別は、**白=左+**／**青=左-**、**赤=右+**／**黒=右-**です【左図参照】

④ 球式アンプでは  $8\Omega$  が+(プラス)、 $0\Omega$  が-(マイナス)です。

⑤ 入力コードの芯線は先端をよく束ねておき、線がほぐれてアンプの金属部分に触れぬようご注意ください。

⑥ はずしたスピーカー・コード(②参照)は、アダプター背面のスピーカー端子につなぎます。スピーカーを使わない場合は、この端子は遊ばせておきます。

⑦ つぎに**アダプターの電源コードを電灯線コンセント**(又はアンプの AC アウトレット)に挿入します。

【SRD-6は電源スイッチが附属していません。SRD-7は切換スイッチが電源スイッチを兼ねており、LOUD-SPEAKERのポジションにすると、自動的に電源が切れます】

⑧ 最後に、イヤー・スピーカーのプラグを、凸線を上にして、アダプター前面の6極コンセントに挿入します。

⑨ アンプの電源をつなぐとき、或は、イヤー・スピーカーとスピーカーを切換えるときは、ボリュームを十分に小さく絞っておきます。

■ スピーカー再生のときは、アンプの出力はアダプターを素通りするので、音質はまったく変化しません。

## ★ 取扱

① イヤー・スピーカーは高温/高湿の場所を避けてください。

② 周波数特性がフラットなので、トーン・コントロールで**低音/高音を強調しないようご注意ください。**

③ 歪感がないので、つい音量を大きくしがちですが、**過大入力を加えないようご注意ください。**

④ 振動膜は極薄のフィルムですから、使うとき**ケース本体を抑えつけないようご注意ください。**

⑤ ターン・テーブルのゴロゴロいう雑音やテープのヒス/レコードのスクラッチが目立つときは、再生機器の各パーツをよくお調べください。

⑥ イヤー・スピーカーを使わないときでも、プラグを引抜く必要はありません。

⑦ 耳当パッドの清掃には、アルコールを軽く含ませたガーゼをお使いください。汗でお困りのときは、ガーゼを1~2枚パッドに当てがうと楽になります。

⑧ 耳当パッドが破損したときは、古いパッドをはずし、新しいパッド(別売)と交換してください。

⑨ バネが強すぎて耳に苦痛を感じるときは、2本のバネを耳の近くで**軽く外へ**曲げてください。但し、バネが弱くなりすぎると、不安定になったり、低域再生能力が悪くなるので、試聴しながら、少しづつ曲げるようにしてください。